

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第4回）

日時：令和6年12月23日（月）11:00～11:50

場所：大阪市役所 5階 特別会議室

<次 第>

開会

議事

- （1）TDMトライアルの検証結果 ……資料1
- （2）TDMパートナー企業登録促進に向けた取組 ……資料2
- （3）100日前広報について ……資料3

閉会

<配布資料>

- ・出席者名簿
- ・配席図
- ・資料1 : TDMトライアルの効果検証について
- ・資料2 : TDMパートナー企業登録促進に向けた取組
- ・資料3 : 100日前広報について
- ・参考資料1 : 万博TDMステッカー
- ・参考資料2 : 名刺用TDMロゴ

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議（第4回）

出席者名簿

<会長>

吉村 洋文 大阪府知事

<会長代行>

横山 英幸 大阪市長

<副会長>

石毛 博行 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務総長

<委員>

関 総一郎 公益社団法人関西経済連合会 専務理事（代理出席）

鳥井 信吾 大阪商工会議所 会頭

宮部 義幸 一般社団法人関西経済同友会 代表幹事

<協力委員>

信谷 和重 経済産業省 近畿経済産業局 局長

長谷川 朋弘 国土交通省 近畿地方整備局 局長

岩城 宏幸 国土交通省 近畿運輸局 局長

原 恭 関西鉄道協会 会長

鈴木 一明 近畿バス団体協議会 会長

<事務局>

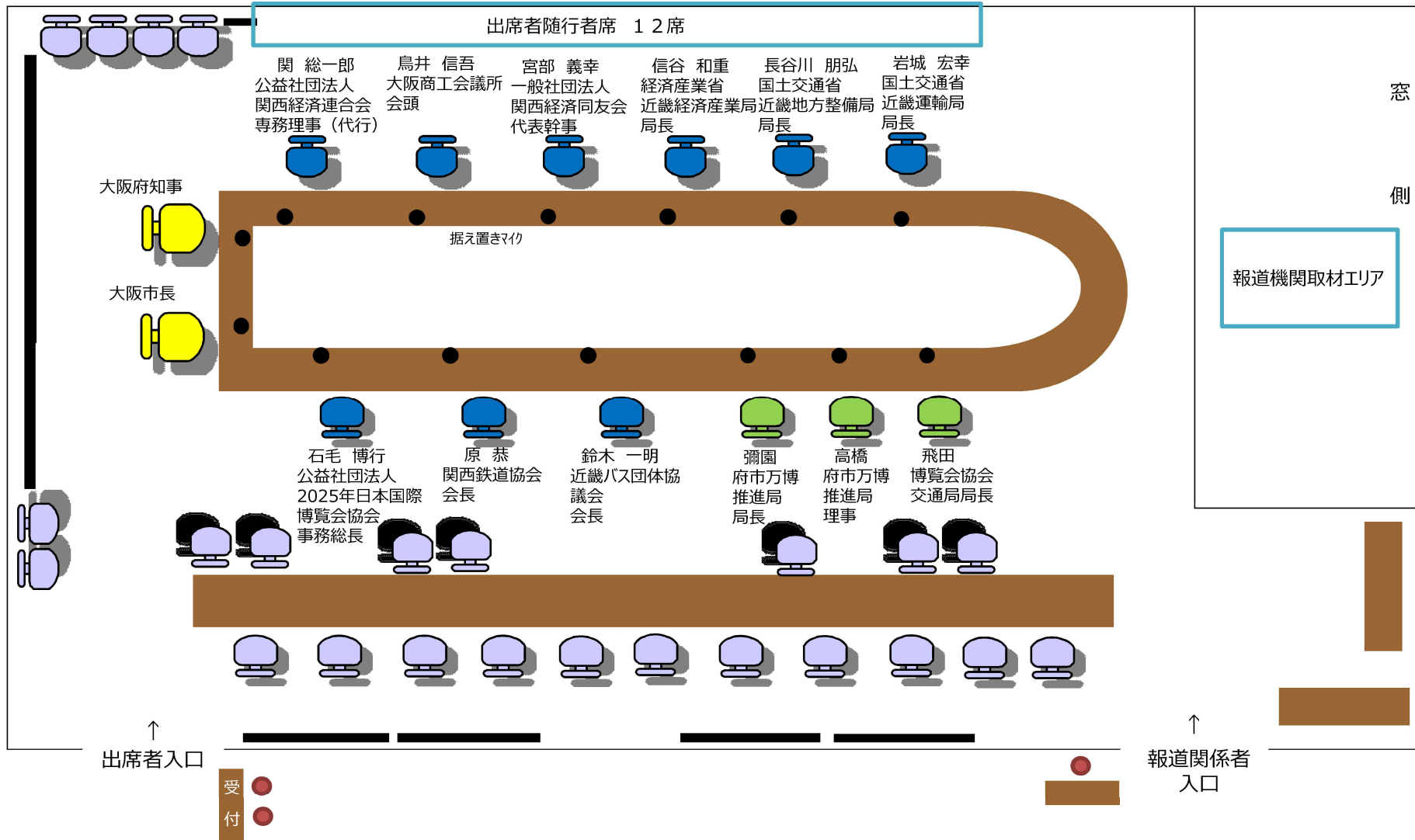
彌園 友則 大阪府・大阪市万博推進局 局長

高橋 寛 大阪府・大阪市万博推進局 理事

飛田 章 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 交通局長

2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議（第4回） 配席図

会場：大阪市役所 5階 特別会議室



TDMトライアルの効果検証について

1 TDMトライアル結果（大阪府・市）

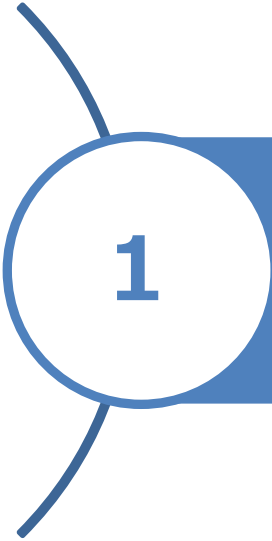
2 TDMトライアル結果（博覧会協会）

3 TDMトライアル検証結果

4 企業等の取組状況（アンケート結果）

5 今後の進め方

6 （参考）TDM関連施策

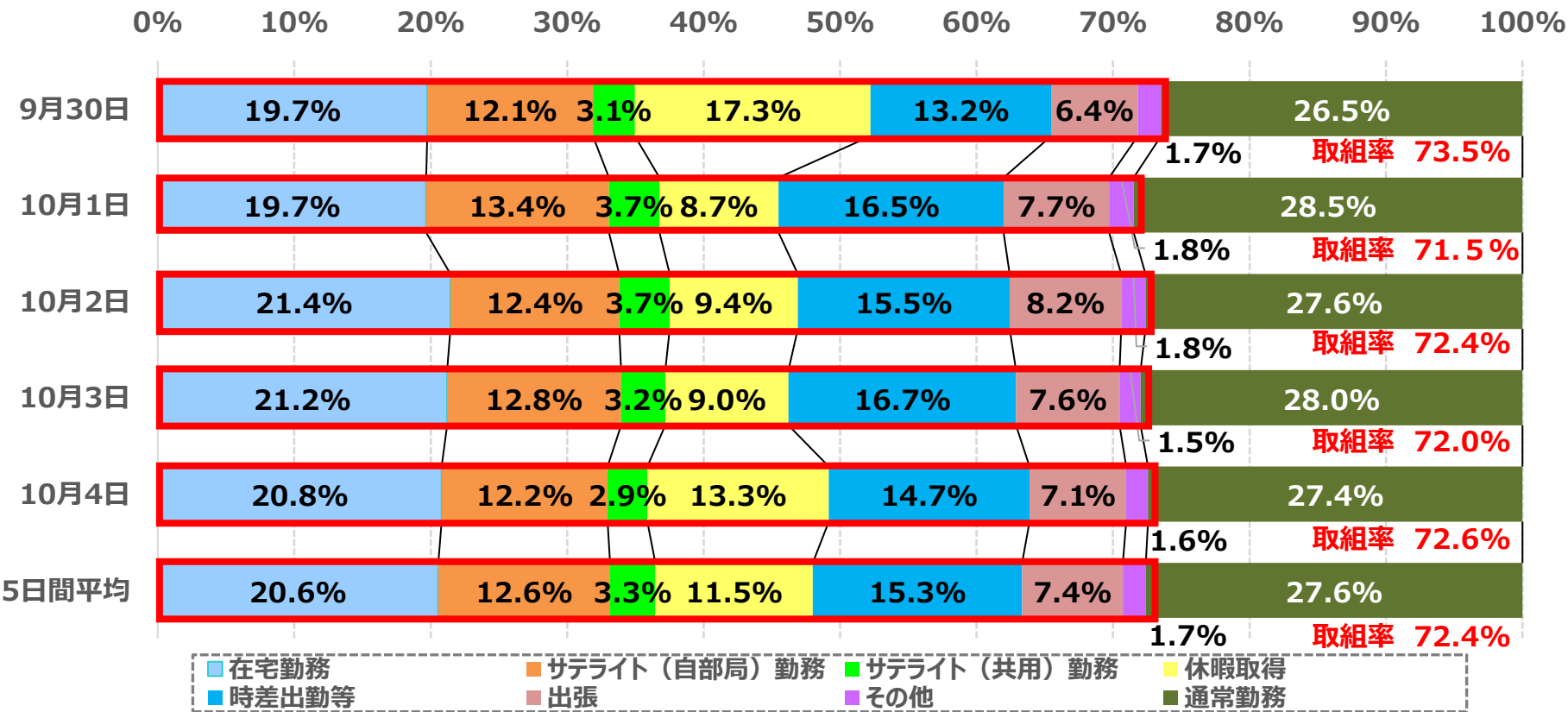


1

TDMトライアル結果（大阪府・市）

■TDMトライアル結果（大阪府市職員）

- ▶ 咲洲・ATC庁舎部局において、約3700人の職員のうち、7割以上がTDMに取り組んだ
- ▶ 取組内容は、「在宅勤務」、「時差出勤等」、「サテライト（自部局）勤務」が多い傾向であった
- ▶ 会期中のTDM実施に向けた各部局からの主な意見
 - ・設備に関する意見：サテライトにおける電話不足等
 - ・制度に関する意見：在宅勤務制度の回数特例の継続実施等



- ▶ サテライトでの業務遂行にあたり、最低限必要な環境を整備
- ▶ 勤務制度について、関係局と引き続き調整要
- ▶ 関係機関に対して、更なる周知・働きかけの強化要

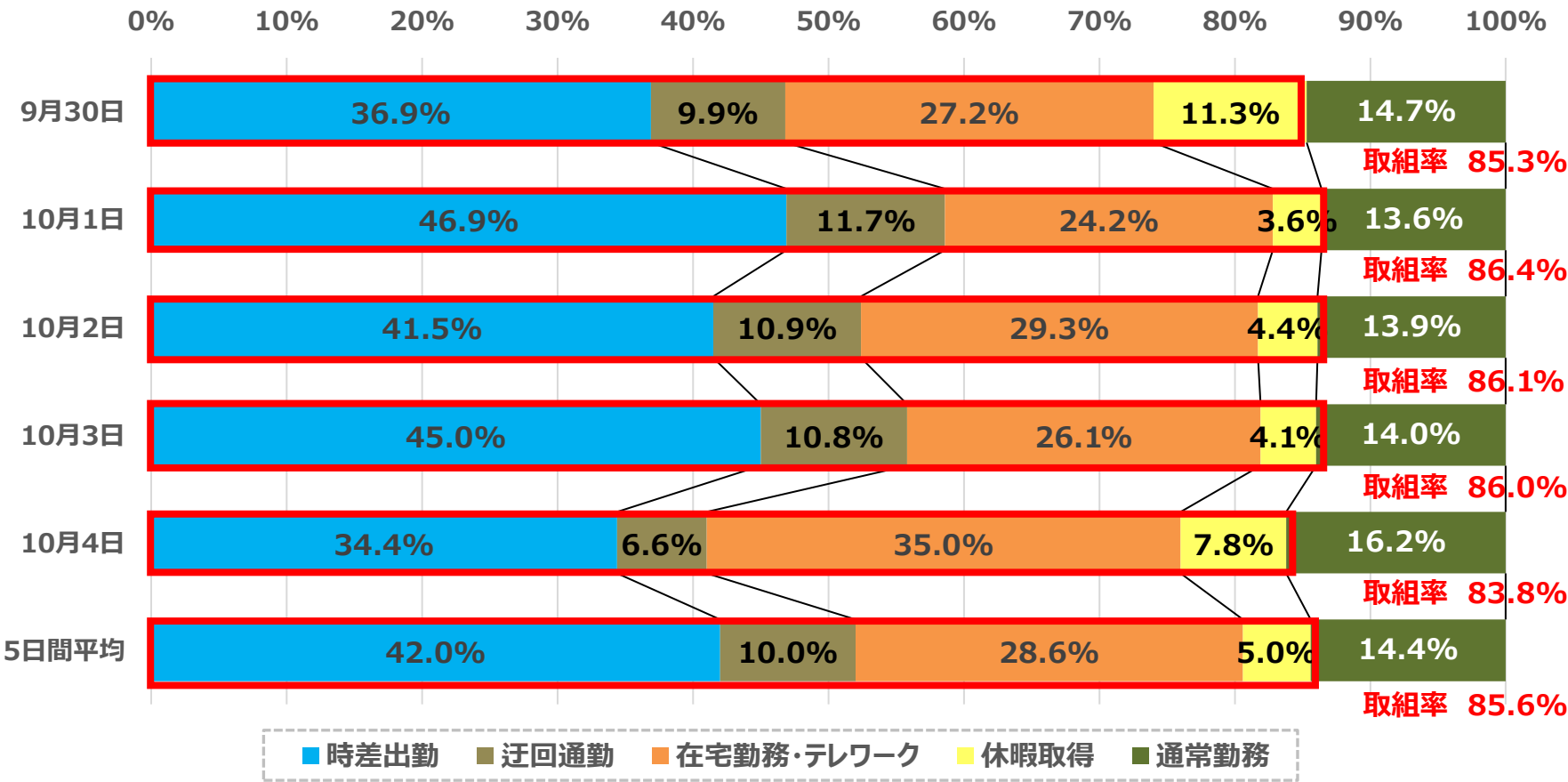


2

TDMトライアル結果（博覧会協会）

TDMトライアル結果（博覧会協会職員）

- ▶日本国際博覧会協会において、約800人の職員のうち、85.6%がTDMに取り組んだ
- ▶取組内容は、「時差出勤」が最も多く、以下「在宅勤務・テレワーク」、「迂回通勤」、「休暇取得」と続いた
- ▶職員からの主な意見
 - ・「早く出勤しても取引先が通常勤務のため夕方に会議が設定され、勤務時間が伸びた」、
 - ・「職員の間で勤務時間が違うので、会議等の開催時間の調整が困難」等



- ▶時差出勤を実施する場合は、取引先にも周知し理解を求め、会議時間を早めることが必要。
- ▶職員の負担を減らすためには、可能な限り部署内で出勤時間を揃えるなど、職場を挙げてのサポートが必要。



3

TDMトライアル検証結果

■ 交通量低減量の検証【鉄道（Osaka Metro中央線）】

検証期間

- Osaka Metro提供データに基づき、
「TDMトライアル時 [9月30日 (月) ~10月 4日 (金)]」と
「トライアル前週 [9月 9日 (月) ~ 9月13日 (金) *]」及び
「トライアル後週 [10月 7日 (月) ~10月11日 (金)]」を
比較し、変化した交通量を把握。

* 9月16日（月）及び23日（月）の祝日の週を除く直近の前週

検証時間

- 混雑対策が必要となる平日朝ピーク時（８時台～１０時台）

検証データ

- 降車人数、区間利用者数、混雑率

検証内容

- ①Osaka Metro中央線（コスモスクエア駅、トレードセンター前駅）の降車人数の変化

→ 大阪府市（ATC、咲洲部局）、博覧会協会、企業等の取組による効果の把握

- ## ➤ ②Osaka Metro中央線（弁天町→朝潮橋）の混雑率の変化

➡ Osaka Metro中央線において最も混雑が予測される当該区間における
大阪府市（ATC、咲洲部局）、博覧会協会、企業等の取組による効果の把握

- ③万博需要を加味したOsaka Metro中央線（弁天町→朝潮橋）の混雑率の把握

万博での達成目標であるOsaka Metro中央線の混雑率120%との比較

検証区間

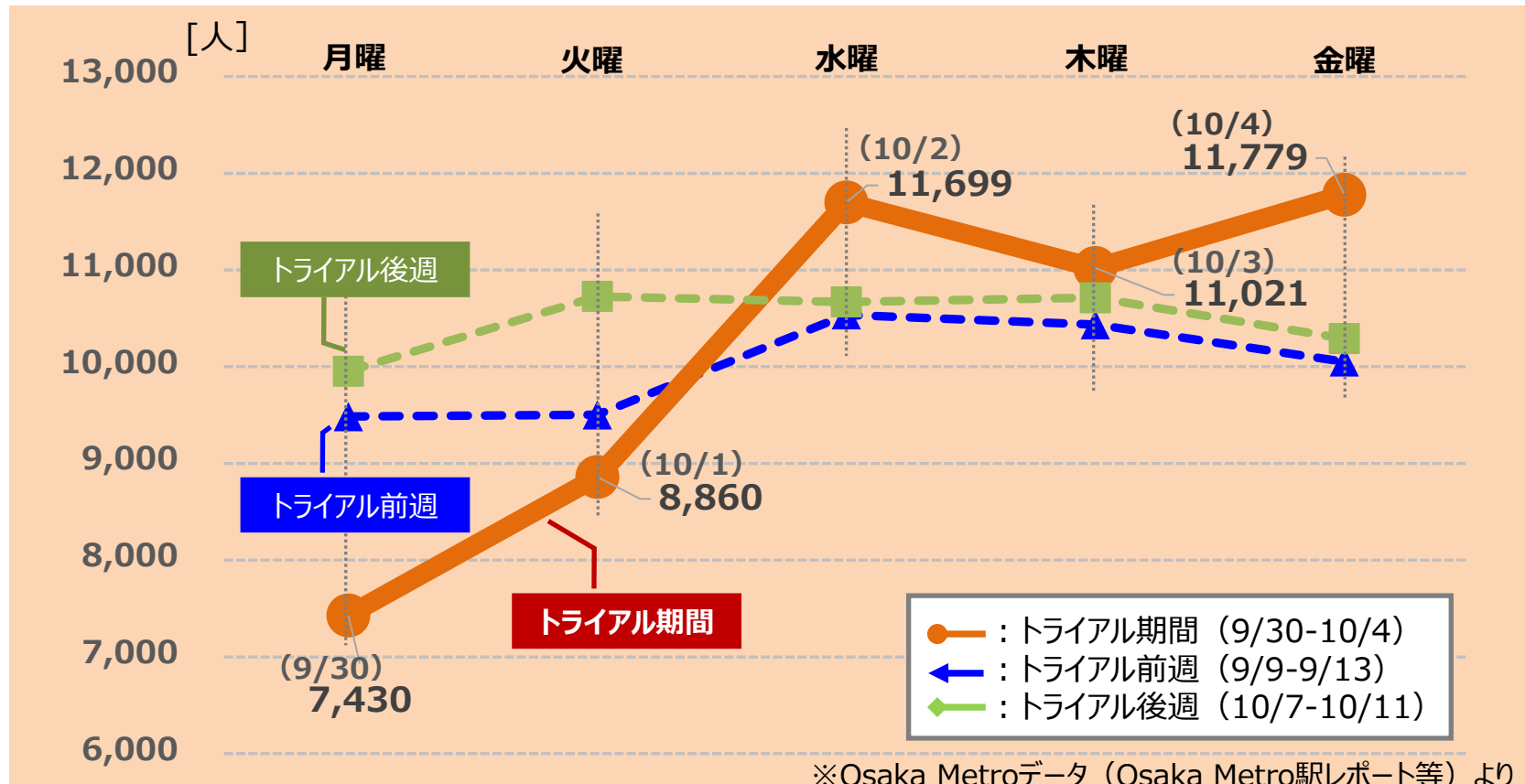
Osaka Metro中央線（弁天町→コスモスクエア）



■ Osaka Metro中央線（コスモスクエア駅、トレードセンター前駅）の降車人数の変化

● トライアル週の前半（9月30日～10月1日）については、前週・後週より降車人数が少なかったが、後半（10月2日～10月4日）について、前週・後週よりも、降車人数が多かった。

- ・10/2（水） 11,699人【前週比+1,162人（+11%）、後週比+1,029人（+10%）】
- ・10/3（木） 11,021人【前週比+586人（+6%）、後週比+307人（+3%）】
- ・10/4（金） 11,779人【前週比+1,729人（+17%）、後週比+1,488人（+14%）】



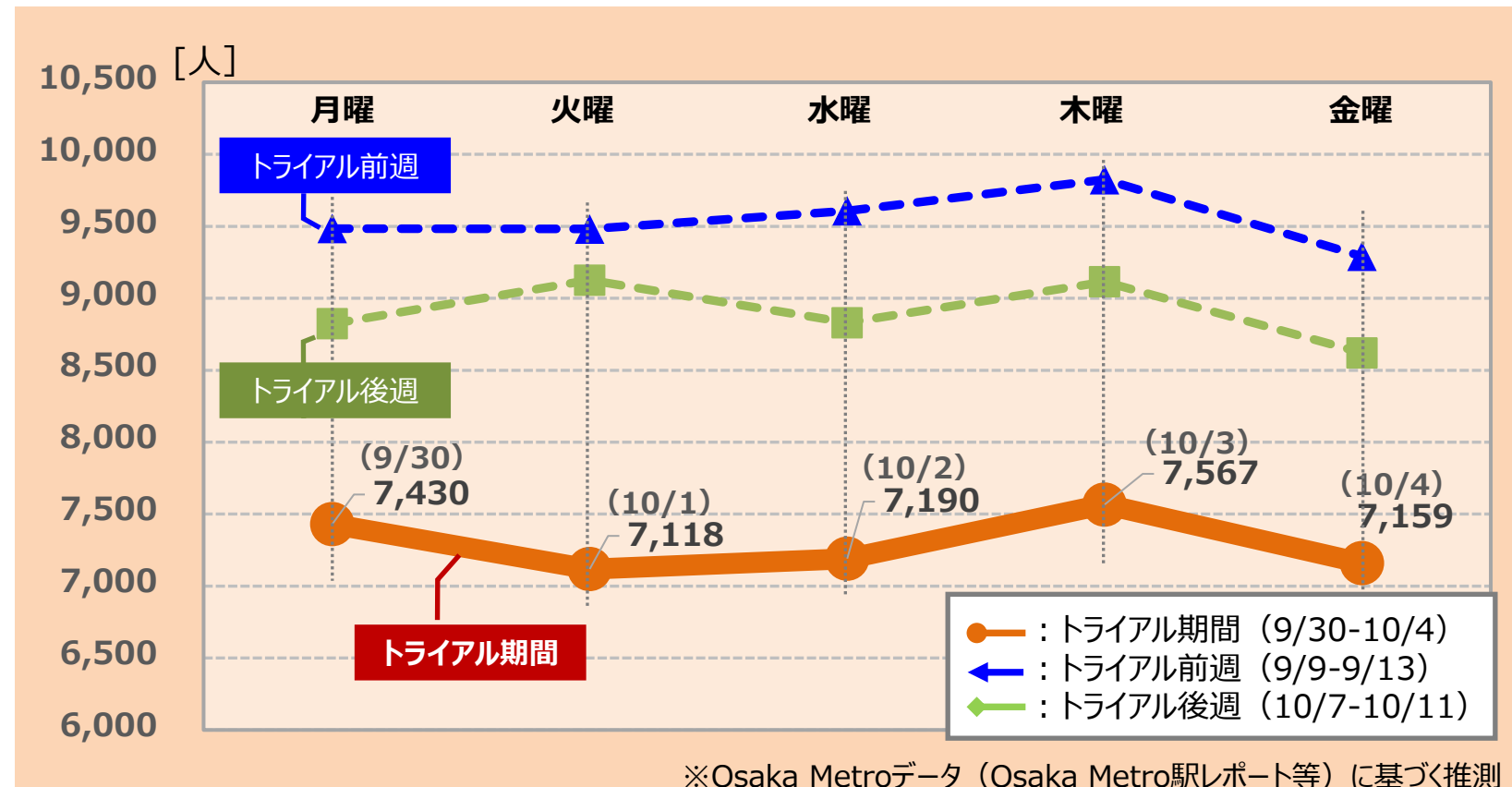
<コスモスクエア駅+トレードセンター前駅 降車人数（8～10時台 合計数）>

■ Osaka Metro中央線（コスモスクエア駅、トレードセンター前駅）の降車人数の変化

沿線主要集客施設等の要素※控除「後」

※イベント利用者や大学通学者による増

- 降車人数（コスモスクエア、トレードセンター前）の合計数（8時台～10時台）が、対前週比において、約23%、後週比において約18%低減していることを確認
➡ 大阪府市等による取組が交通量低減に効果があることを確認



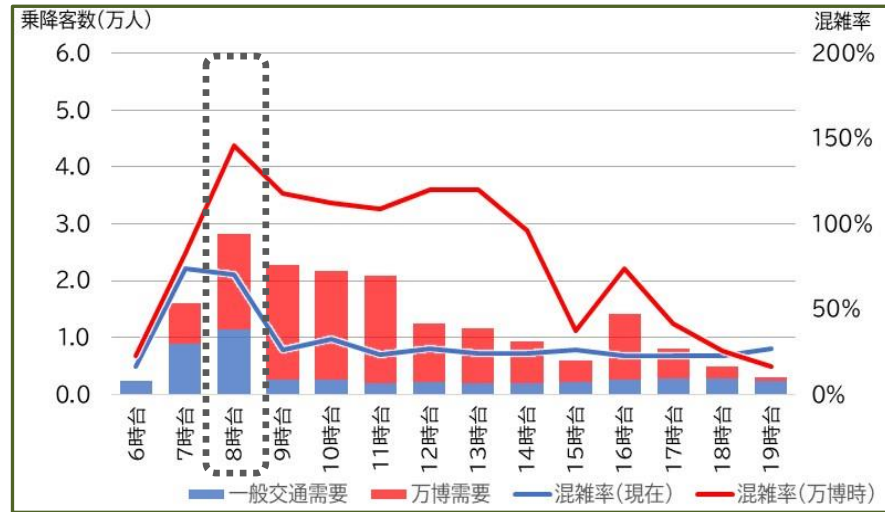
<コスモスクエア駅及びトレードセンター前駅 降車人数（8～10時台 合計数）>

■ Osaka Metro中央線「弁天町→朝潮橋駅」 区間混雑率（8時台）の変化

平時朝ピーク時において、最も一般交通需要による混雑率が高いことが予測される8時台（来場者数22.7万人）に着目して、混雑率の変動を確認

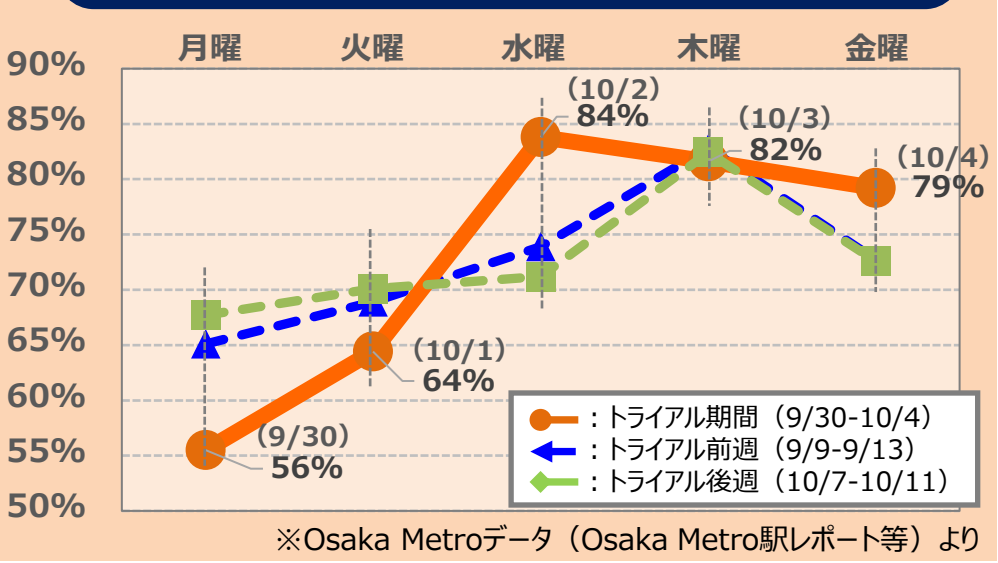
- <沿線主要集客施設等の要素*控除「前」（トライアル週の後半）>
：（平時）約70% ➡（トライアル週）約82%
- <沿線主要集客施設等の要素*控除「後」>
：（平時）約70% ➡（トライアル週）約58%
- 〔 ※ イベント利用者や大学通学者、集客施設利用者による増 〕

➡大阪府市等による取組が交通量低減に効果があることを確認

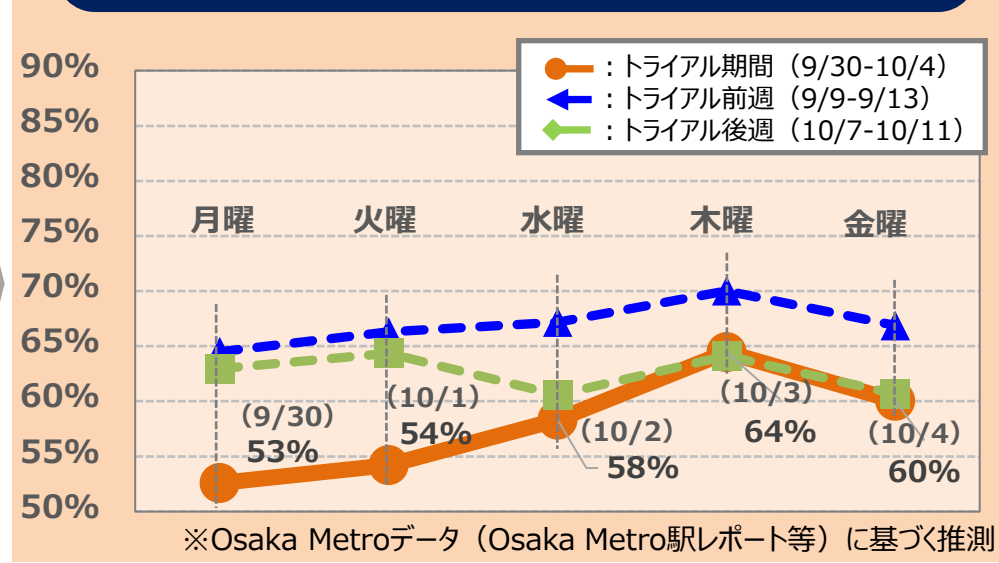


<「弁天町→朝潮橋駅」の混雑予測（来場者輸送具体方針第5版）>

沿線主要集客施設等の要素控除「前」



沿線主要集客施設等の要素控除「後」



<「弁天町→朝潮橋駅」の混雑率（8時台）>

■ 万博交通需要を加味した『弁天町→朝潮橋駅』区間混雑率（8時台）

【前提条件】

- TDMによる達成目標（来場者輸送具体方針より）：「Osaka Metro中央線混雑率 約140%⇒約120%」
- 分析過程で控除した沿線主要集客施設等の要素は、万博開催時においても同等の規模が見込まれる。
- ➡ 沿線主要集客施設等の要素を見込んだ上で、いかに混雑率低減を実現するかという観点での調整が必要

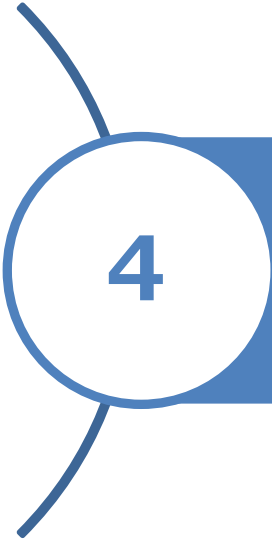
- 沿線主要集客施設等の要素により、トライアル週の後半は、混雑率が減少しにくい傾向（140～145%）にあり。
- 沿線主要集客施設等の要素を前提とした場合、120%の達成目標に向けては、約4,000～5,000人の更なる取組が必要

沿線主要集客施設等の要素控除「前」

万博需要(8時台) ※平日・予約枠による平準化後	1.7万人				
一般需要(8時台) ※平日・トライアル結果によるもの	9月30日(月) 0.7万人	10月1日(火) 0.8万人	10月2日(水) 1.1万人	10月3日(木) 1.0万人	10月4日(金) 1.0万人
万博需要 + 一般需要	2.4万人	2.5万人	2.8万人	2.7万人	2.7万人
混雑率 ※中央線を16本/h⇒24本/hへ増便予定	124%	130%	145%	140%	140%

（参考）沿線主要集客施設等の要素控除「後」

万博需要(8時台) ※平日・予約枠による平準化後	1.7万人				
一般需要(8時台) ※平日・トライアル結果によるもの	9月30日(月) 0.7万人	10月1日(火) 0.7万人	10月2日(水) 0.7万人	10月3日(木) 0.8万人	10月4日(金) 0.8万人
万博需要 + 一般需要	2.4万人	2.4万人	2.4万人	2.5万人	2.5万人
混雑率 ※中央線を16本/h⇒24本/hへ増便予定	124%	124%	124%	130%	130%



4

企業等の取組状況（アンケート結果）

■ 企業の取組状況 【アンケート実施対象】

実施対象



:TDM登録企業



:主に駅利用者

NO	対象分類	対 象	方 法	回収数/対象数
1	事業所	TDMパートナー登録事業所	TDMパートナー企業へメールマガジンにてアンケート配信	107件 /448件 ※トライアル開始前 (2024.11.1) の登録数
2	従業員	TDMパートナー登録事業所の従業員	TDMパートナー企業窓口より、従業員へ配信	1133件
3	駅利用者	大阪メトロ中央線の朝潮橋、大阪港、コスモスクエア駅の利用者	改札を通過される方に、アンケートQRコードを記載したステッカーを配布 ※主に一般の方々の取組状況について把握	886件
4	駅利用者 (WEB)	大阪府＋近隣市*に居住し、通勤で8,9,10時台に鉄道を利用されている方 * 京都・奈良・兵庫の一部	楽天インサイトのwebモニターを対象に5万人に配信し、条件に該当する方を抽出し回答を依頼 ※主に一般の方々の取組状況について把握	1,000件
5	専用HP掲載	1～4以外	TDMパートナー専用HPにアンケートリンクを掲載 ※主に一般の方々の取組状況について把握	30件

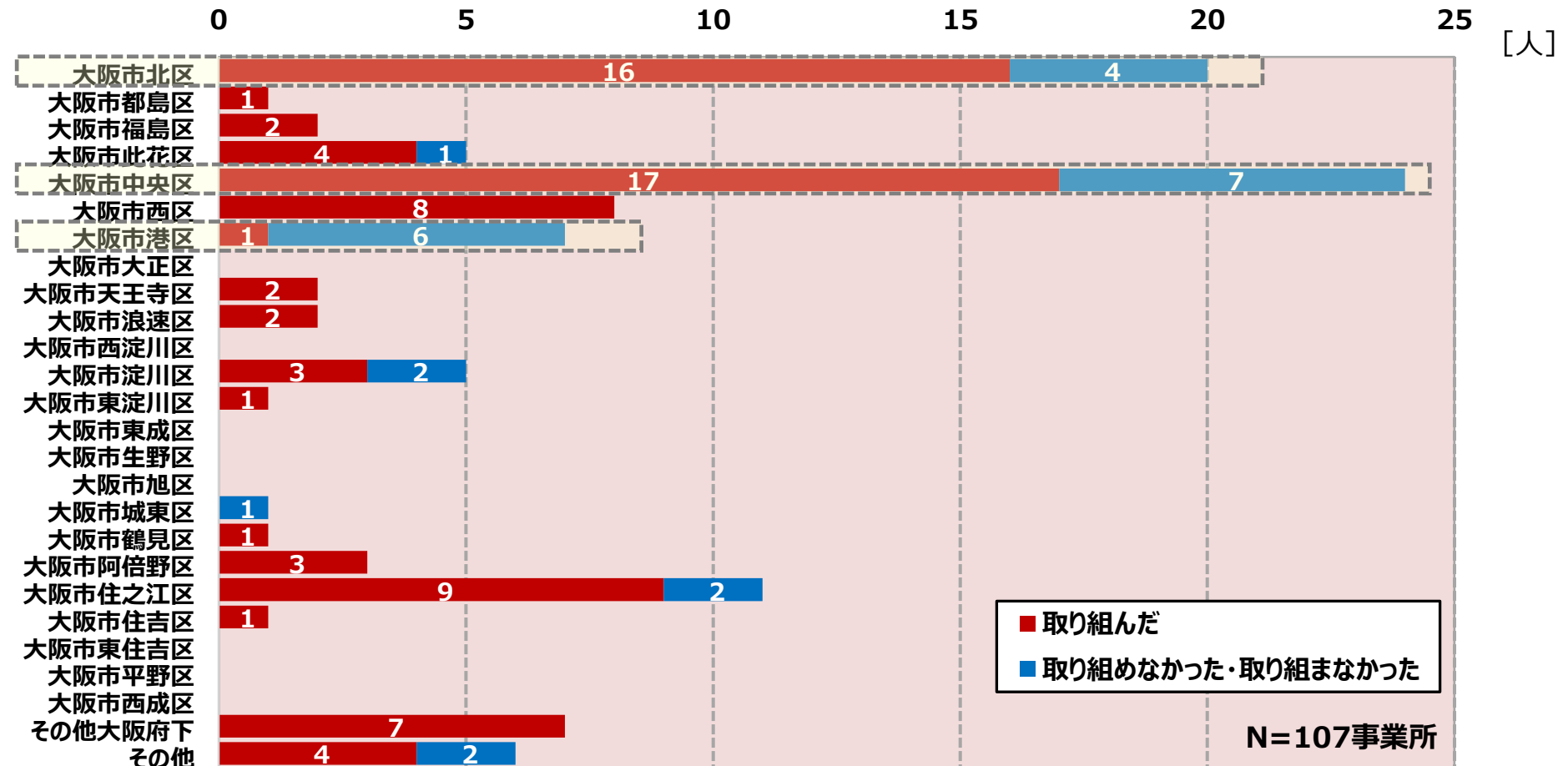
分析手法

「TDM登録企業」と「主に駅利用者」の属性別に、
TDMトライアルの取組結果を整理、今後の対策に言及

■企業の取組状況【取組分布】

- 事業所アンケートに回答頂いたTDMパートナーのうち、取り組んだ事業所は大阪市北区、中央区が比較的多い
- 大阪メトロ中央線沿線企業（港区）において、「取り組めなかった・取り組まなかった」事業所が存在

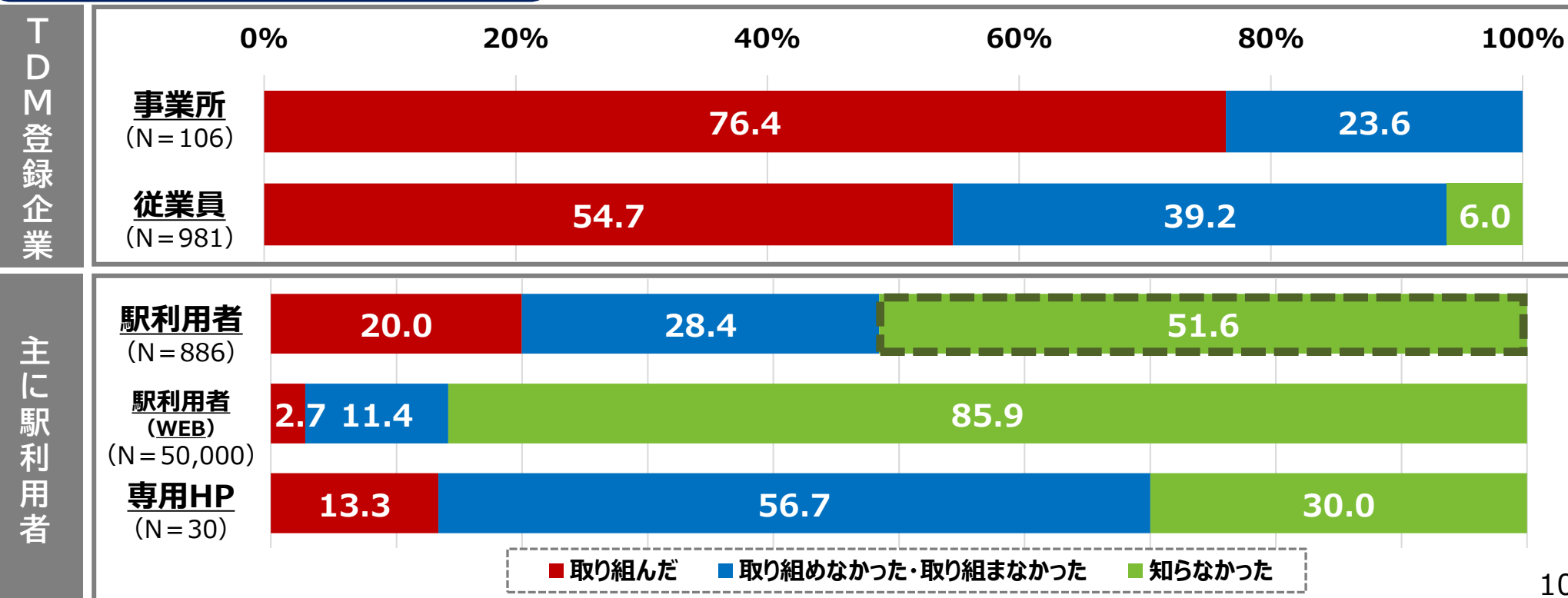
取組を行った企業の分布



■企業の取組状況【取組の有無】

- 「人の流れ」に係る取組は、「TDM登録企業」において事業所で約76%（81事業所/106事業所）、事業所の従業員で約55%が実施
- 一方、「主に駅利用者」においては、中央線（朝潮橋～コスモスクエア駅）利用の方においても、「TDMを知らなかった」が約52%
 - ➔ 「TDM登録企業」の方が「主に駅利用者」と比較して、取組割合及び認知度は明らかに高い
- 「物の流れ」に係る取組は、「TDM登録企業」において、事業所で約40%（10事業所/25事業所）、事業所の従業員は約37%が実施
 - ➔ 「物の流れ」に係る取組は、「人の流れ」に係る取組よりも明らかに少ない

「人の流れ」に係る取組の有無

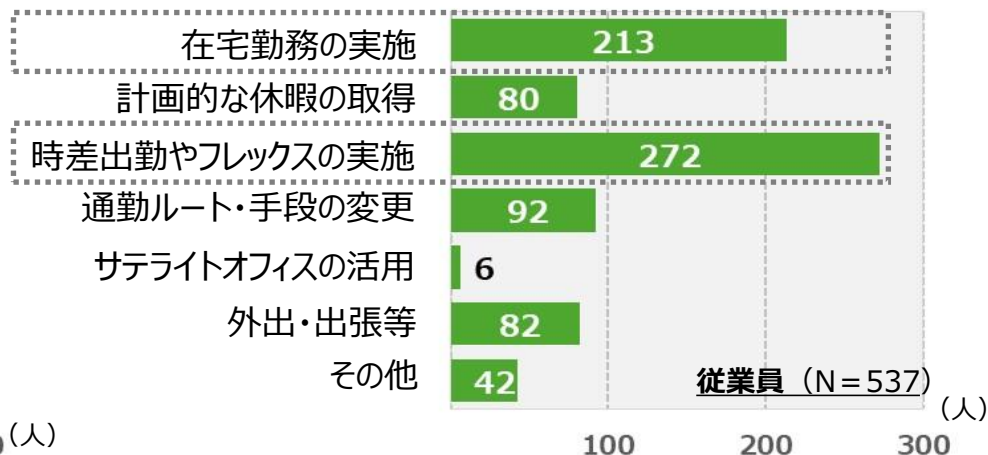
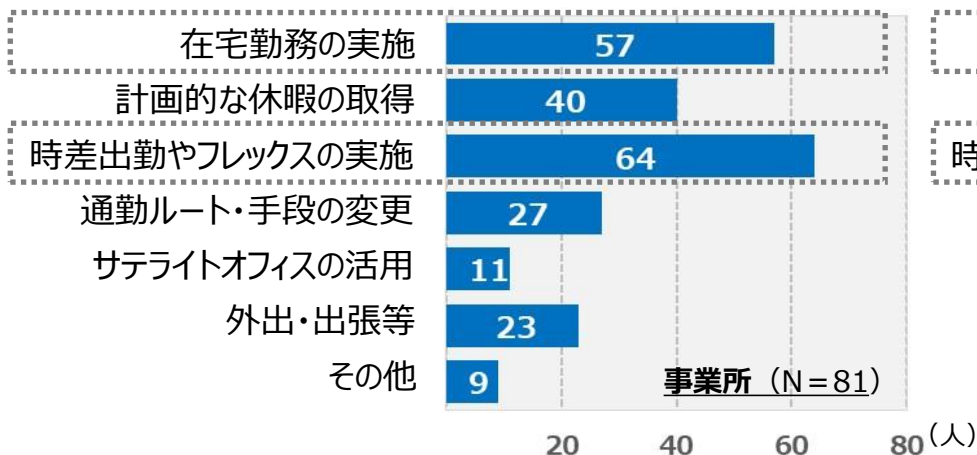


■企業の取組状況【取組内容】

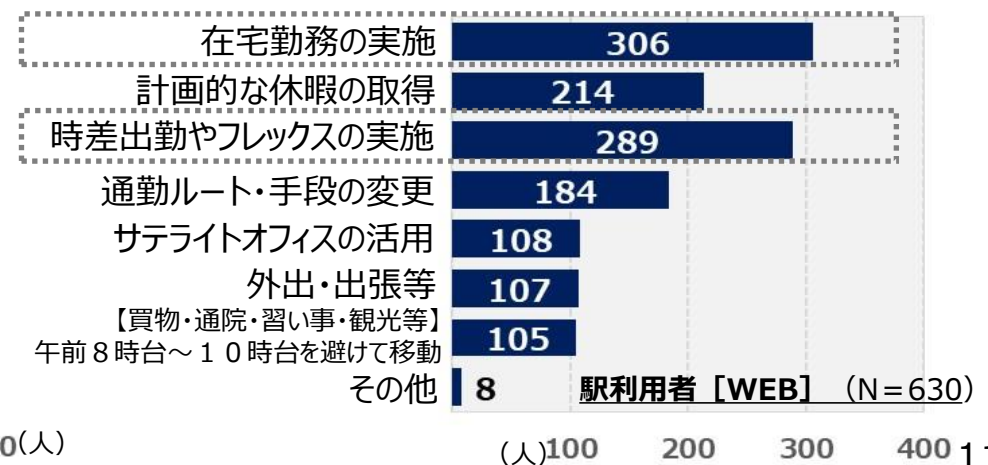
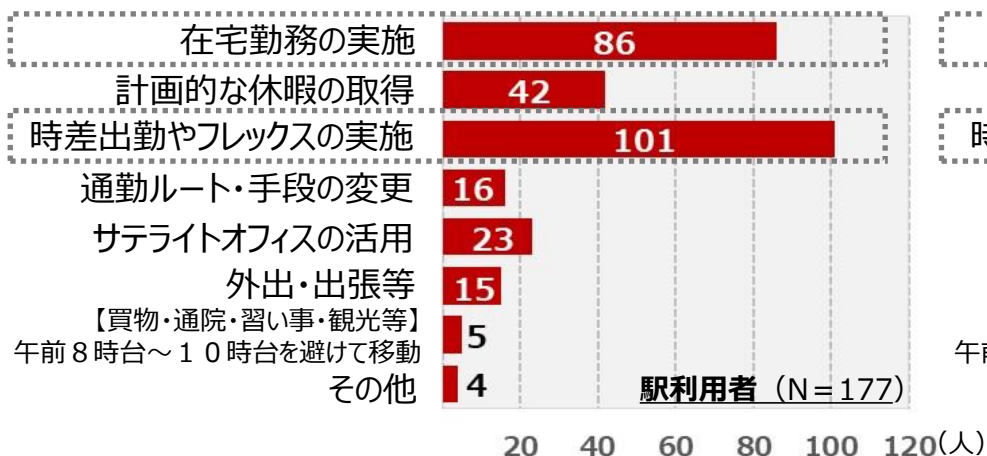
- 「TDM登録企業」、「主に駅利用者」共に、「在宅勤務の実施」「時差出勤やフレックスの実施」が上位
- 取り組んだ方からは、「TDMやその必要性を知る機会となった」、「TDMを契機に在宅勤務や時差出勤に取り組む社員がいた」等の声が寄せられた

取組内容（人流）

TDM登録企業

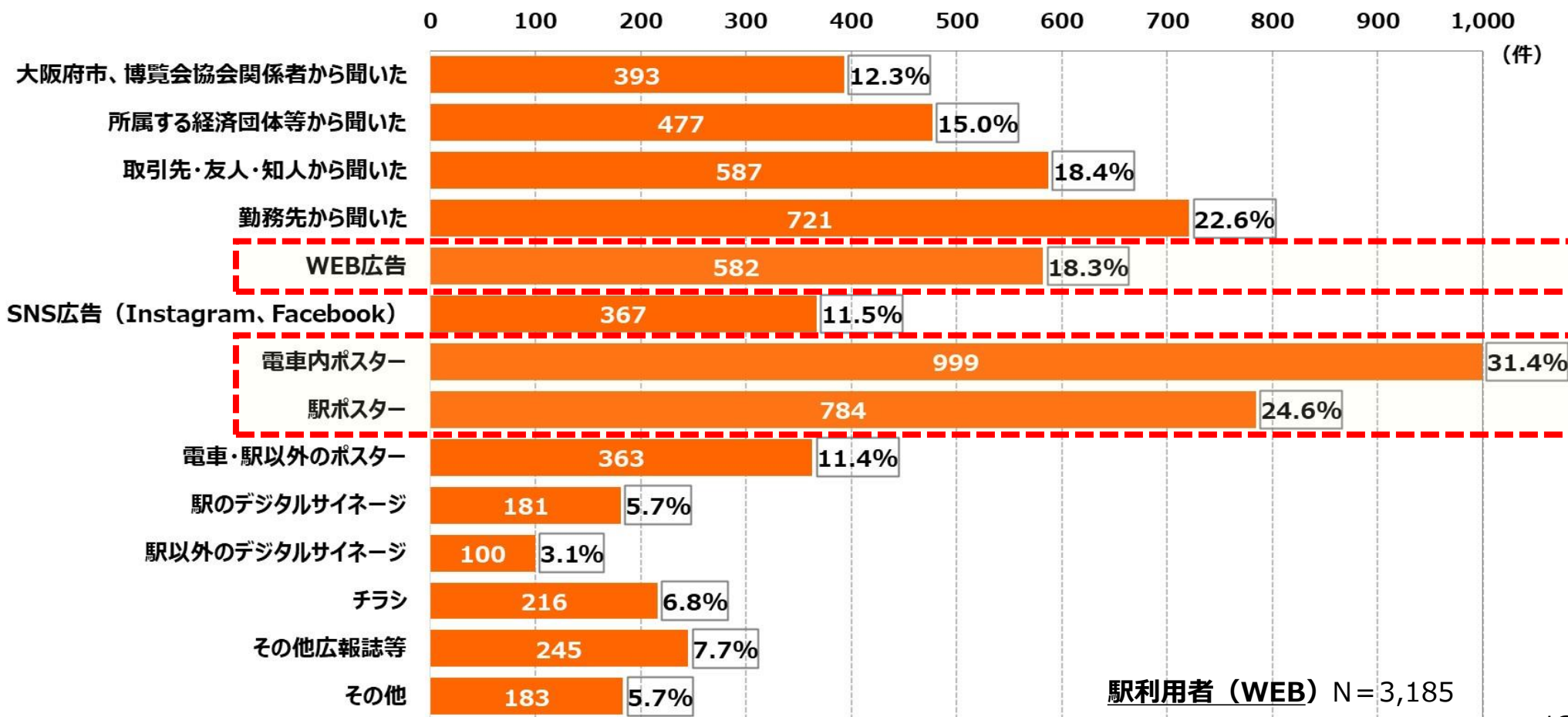


主に駅利用者



■企業の取組状況【認知手段】

- 「鉄道車両広告(電車内・駅ポスター)」が約56%、「勤務先から聞いた」が約23%、「取引先・友人・知人から聞いた」、「WEB広告」が各々約18%
- ➡ 電車内・駅ポスター、WEB広告が認知度向上に寄与しており、万博開幕に向けたTDMの有効な情報発信周知方法であることを確認



■企業の取組状況【万博に向けた課題・改善点】

人の流れ（主要な意見）

【TDM登録企業】

- 万博期間中は各公共交通機関が大混雑するという認識がまだ薄い。
- 取組むための準備期間が足りなかった。
- 関係者・取引先等との調整が必要。また、社員や取引先に対し、取組への理解を深める必要がある。
- 会社の枠を超えて地域全体での取り組みPRがより重要である。

【主に駅利用者】

- トライアルは可能でも、半年間は続けられる見込みがない。
- 時間をコントロールできるよう、会社全体での取組に向けた調整が必要。
- 通信面等のIT環境や勤務環境が整っておらず、在宅勤務が困難であった。

物の流れ（主要な意見）

【TDM登録企業】

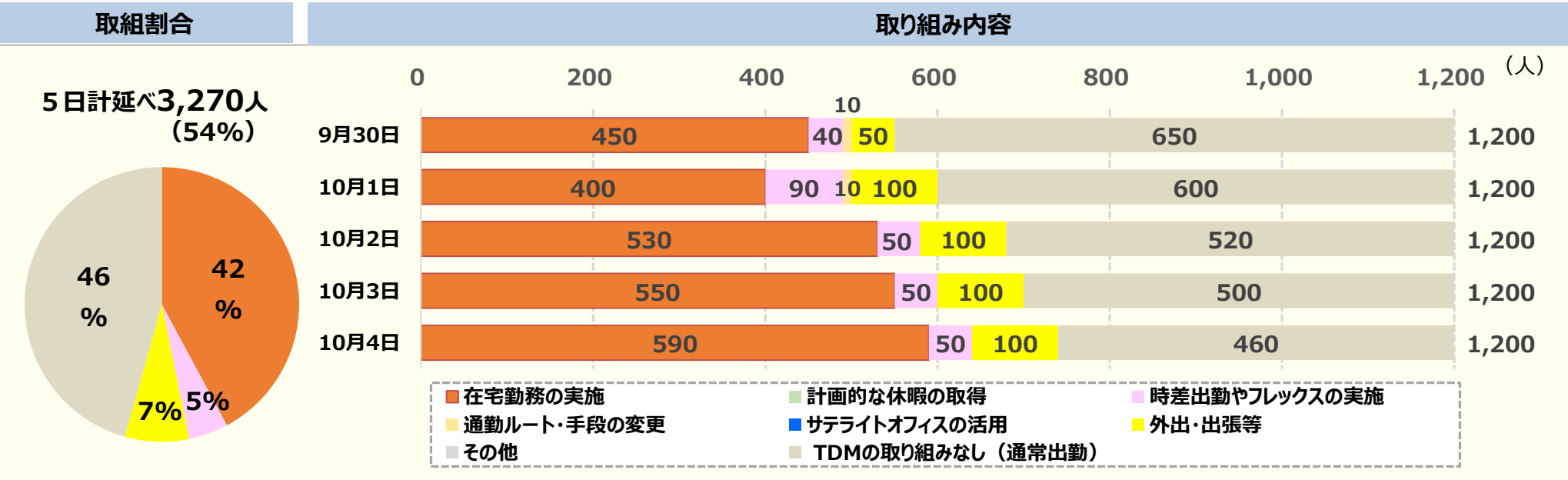
- 万博期間中の交通混雑状況が見えず、TDMの必要性を感じなかった。
- 取り組むための準備期間が足りなかった。
- 万博期間中は取引先との入念な事前協議・調整が必要

■ 取組事例【人の流れ】：ミズノ株式会社

参考資料

- ミズノ株式会社はTDMトライアル期間中は延べ3,270人（54%）が取組を実施
- 取組内容は、「在宅勤務の実施」が最も多く、「時差出勤やフレックスの実施」等にも取り組んでいる。

所在地	大阪市住之江区南港北1-12-35（大阪本社）
従業員数	1200人
業種	スポーツ・レジャー用品（メーカー）、商社（スポーツ・レジャー用品）、専門店（スポーツ・レジャー関連）、商社（アパレル・ファッション関連）

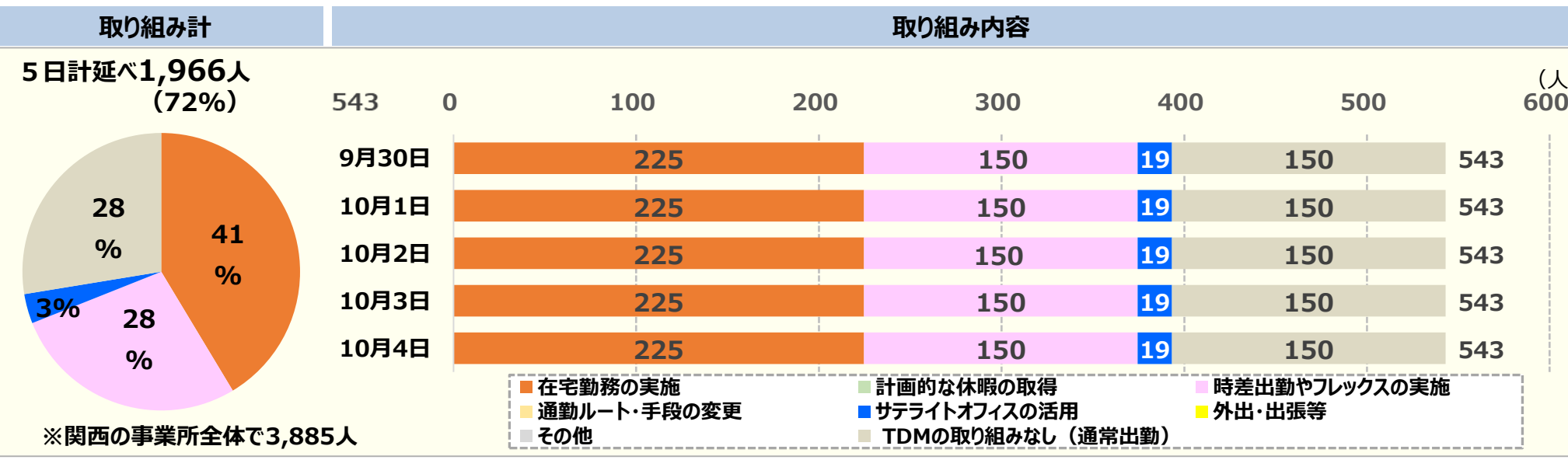


■ 取組による課題	✓部門による勤務制度の見直しの必要性
■ 開幕に向けた取り組み	✓従業員へのTDMの取組の必要性・内容の周知の徹底

■ 取組事例【人の流れ】：株式会社LIXIL

- 株式会社LIXILはTDMトライアル期間中は南港の事務所では延べ1,966人（72%）、関西の事業所全体では延べ3,885人（72%）が取り組んだ。
- 取組内容は「在宅勤務の実施」が最も多く、次いで「時差出勤やフレックスの実施」が多くなっている。

所在地	大阪市住之江区南港北1-7-62（ONEビル）、他関西の事業所11箇所
従業員数	543人〔関西の事業所全体で1,037人〕
業種	インテリア・住宅関連、建材・エクステリア、金属製品



■ 取組による課題	✓ 今回はトライアル期間ということもあり、取組の主旨は理解頂いているものの営業部門として取引先都合が優先されるため、具体的にアナウンス以外は実施できなかったこと。 ✓ 人流抑制として来館者様の車移動の抑制や社有車の抑制等計画はしていたが、多方面に影響が出ることから本トライアル期間では実行できなかった。
■ 開幕に向けた取組	✓ 顧客や取引先と協議・調整を行う ✓ 従業員にTDMの必要性などについて周知・説明を行う

- 会社製品の配送で納品時間の調整による混雑時間帯の回避に資する取組を実施。
- 取引先物流会社や倉庫会社と協議・調整を行い、協力体制を整えた上で取組を実施。

所在地	大阪市中心区玉造 1 - 2 - 2 8
従業員数	1,910人
業種	複合機、プリンター、商業用・産業用印刷機器、ドキュメントソリューション、アプリケーションソフトウェアおよびサプライ製品の開発・製造・販売

<アンケートでの具体的な意見>

■ 取組内容	➢ 当社製品の配送について、取引物流会社、倉庫会社と調整の上、可能な範囲で納品時間を調整し、混雑時間帯を回避する取組を実施
■ 取組のハードル	➢ 取引先物流会社、倉庫会社（南港エリア）もTDMパートナーに登録頂けていることもあり、物流会社、倉庫会社ともに協力体制が整えられていた。
■ 取組による感想	➢ 日頃、意識的に取り組む機会はないため、社内周知の良いきっかけとなった。 ➢ 万博開幕に先駆けて、物流業者と協議をする場をもてたことは有意義であった。
■ 取組による課題	➢ 取引先の協力がいただけたことで大きな課題はなかった。
■ 開幕に向けた取組	➢ 取引先との入念な事前協議・調整の実施



5

今後の進め方

■ 今後の進め方

＜鉄 道＞

- TDMトライアルの取組が、交通量低減に一定の効果があることを確認。
- 一方、中央線沿線をはじめとする各企業の皆さまの更なる取組が必要。
- 日・週による交通量変動や沿線主要集客施設等の利用状況による中央線の混雑率への影響が認められる。

TDMによる更なる交通量低減に向けた追加対策が必要

➤ 目標達成に向けた追加対策

① パートナー登録増加（→TDMの必要性を理解いただき行動変容につなげてもらう）

⇒登録のためのインセンティブの付与（資料2）及び広報（資料3）、個別訪問や説明会の実施

② 沿線主要集客施設等との調整

⇒中央線沿線施設に対する協力を要請

＜道 路＞

➤ 目標達成に向けた追加対策

⇒パートナー登録増加（→TDMの必要性を理解いただき行動変容につなげてもらう）

⇒登録のためのインセンティブの付与（資料2）及び広報（資料3）、個別訪問や説明会の実施

■万博会期中の府市及び博覧会協会のTDM取組方針

TDM取組の基本的な考え方

- 万博交通の集中が予測されるOsaka Metro中央線、御堂筋線における午前中のピーク時間帯（8時台～10時台）の混雑緩和に寄与する取組が必要
- 特に、万博会場へ直接乗り入れる唯一の路線であるOsaka Metro中央線の混雑緩和に寄与する大阪府市（咲洲庁舎・ATC庁舎）、博覧会協会においては重点的な取組が必要
- 一方、上記以外の所属についても、大阪府下全域の交通総量を削減する観点から、TDMの取組を実施

取組目標

対象職員	非常に混雑する期間 (R7.10.1～10.13)	混雑する期間 (R7.6.1～6.30、8.18～9.30)
大阪府市職員		
咲洲庁舎・ATC庁舎	<u>7割</u>	<u>3割</u>
大阪府庁・ 大阪市役所など※1	<u>3割</u>	可能な範囲
大阪府市職員（上記除く）	可能な範囲	可能な範囲
博覧会協会	<u>7割</u>	

※1 市役所の所属（副首都推進局、市政改革室、デジタル統括室、総務局、都市交通局、政策企画室、危機管理室、市民局、財政局、計画調整局、福祉局、健康局、こども青少年局、都市整備局、会計室、教育委員会事務局、行政委員会事務局、市会事務局）、契約管財局、環境局（あべのルシアス）、消防局

▶ 万博期間中の6月にTDMを行い、結果の把握・取組検証をもって、万博閉幕期の最混雑期（10.1～10.13）に向けた対応方針に反映



6

(参考) TDM関連施策

大阪・関西万博に向けた「万博TDM・推進キャンペーン」の実施について

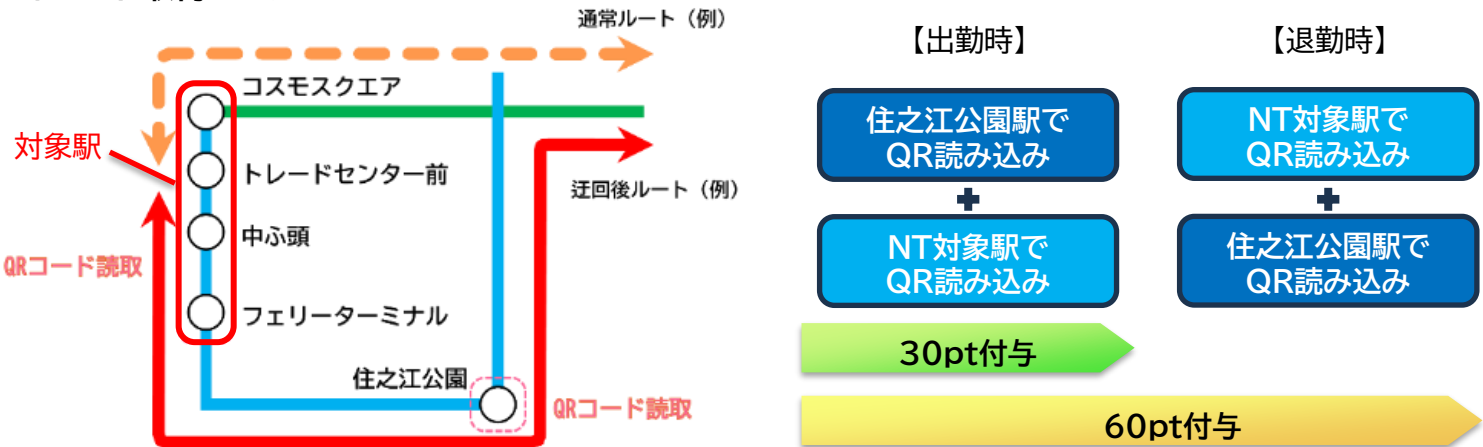
Osaka Metroでは、2024年9月30日(月)から10月4日(金)の「万博TDMトライアル」にあわせて、TDMの取り組みを推進するため、以下のOsaka Pointキャンペーンを実施した

1 概要

「万博TDMトライアル」期間中、中央線のご利用から、比較的混雑が少ないニュートラムへの迂回かつ時差出勤にご協力をいただいたお客さまにe METROアプリを活用して、Osaka Pointをプレゼントした

住之江公園駅とコスモスクエア駅～フェリーターミナル駅の各駅に「QRコード用紙」を設置し、迂回されるお客さまがe METROアプリで、7時台～10時台(8時台は除く)または16時台～20時台に、「住之江公園駅」と「コスモスクエア駅～フェリーターミナル駅のいずれか1駅」の計2箇所でQRコードを読み取っていただくことで片道30ポイント、往復60ポイントの付与を行った

<QRコード・ポイント取得のイメージ>



2 今後の取り組み

万博TDM取り組み期間である2025年6月・8月下旬～会期末(59日間)においても、同施策を実施する予定
※早い段階から広報活動を行い、より多くのお客さまにご協力いただくよう取り組む

TDMパートナー企業登録促進に向けた取組



■TDMパートナーの登録状況

■登録状況(2024年12月19日 12時時点)

● 登録件数:491件 ● 事業所数:1,593事業所

<業種>

業種	件数	事業所数
建設業	68	106
製造業	92	241
電気・ガス・熱供給・水道業	7	57
情報通信業	23	31
運輸業, 郵便業	63	162
卸売業, 小売業	52	118
金融業, 保険業	17	553
不動産業, 物品賃貸業	29	82
学術研究, 専門・技術サービス業	25	48
宿泊業, 飲食サービス業	14	19
生活関連サービス業, 娯楽業	4	6
医療, 福祉	15	21
複合サービス事業	9	11
サービス業(他に分類されないもの)	65	121
公務	4	13
わからない	4	4
総計	491	1,593

2025年大阪・関西万博開催中の交通混雑に備えるために

万博TDMパートナー登録企業募集

登録企業のメリット

- ① 事前の備えにより混雑時のスムーズな移動が可能
- ② 企業イメージが向上
- ③ SDGsの実現に貢献

「万博TDMパートナー」とは

万博開催中の円滑な交通と混雑緩和の観点から、一般交通の混雑や分岐、準急化の観点から協力いただく企業の募集です。

【ご協力いただきたい主な取組】

- 特設車・特設車を利用する取組
- 定時出勤・定時退社・定時退社・定時退社
- 定時退社・定時退社・定時退社
- 定時退社・定時退社・定時退社

登録方法

登録期間

主催

お問い合わせ先

専用ホームページ

企業の皆さまへ

2025年大阪・関西万博開催中における円滑な交通の実現にご協力をお願いします！

1 万博には多くの人が来場します！

1日あたりの来場者数

約22.7万人

2 何も取組をおこなわないと……

一部の鉄道や道路で来場者による万博交通と通常の一般交通が「箇所」集中し、混雑の発生が想定

Osaka Metro中央線

混雑率

70%→140%

3 これらの交通混雑が企業活動等へ影響を与える可能性があります

鉄道の場合

道路の場合

4 円滑な交通の実現に、企業の皆さまのご協力をお願いします！

万博TDMパートナー登録企業募集のチラシ

■主な取組状況（R6.2以降）

発信ツール	対象数
メールマガジン	約38,300社
個別依頼・訪問	約3,740社・団体
説明会（現地・オンライン・個別）	34回
広報誌	9誌
チラシ配架（駅・区役所）	2,650部
その他（会議等でのチラシ配布、SNS、HP掲載）	

■TDMパートナー企業登録促進に向けた取組					
項目（案）	対象者	募集開始	対象者決定	実施期間	実施規模
①万博TDM ステッカー ※【参考資料1】参照	パートナー 登録全企業	—	—	2025年1月 より随時配送	1枚／1事業所
②名刺用TDMロゴ ※【参考資料2】参照	パートナー 登録全企業	—	—	2025年1月 より提供	パートナー登録全 企業へデータ提供
③リーフレットへの 企業社名の掲載	パートナー 登録全企業	—	—	2025年1月版 より掲載	パートナー登録 全企業を掲載
④テストランへの招待	パートナー 登録企業	※調整中	※調整中	2025年4月 上旬	5名/事業所× 1,000事業所程度 （想定）
⑤万博TDM出前授業	パートナー 登録企業	2025年2月 中旬（予定）	2025年3月 下旬（予定）	2025年5月～ 9月の平日	2社/回×2回/月 （想定）
⑥大阪ヘルスケア パビリオン催事 専用スペースの活用	パートナー 登録企業かつ 取組実施企業	2025年2月 上旬（予定）	2025年3月 上旬（予定）	2025年6・7月 の複数日	2社/日×複数日 （想定）

万博TDMに協力する企業であることをお知らせし、企業の知名度・イメージ向上につながるもの。

1. 万博TDMステッカー

<概 要>

- ▶ パートナー企業に登録いただいた全企業に対し、「万博TDM登録ステッカー」を取得できる仕組み。
- ▶ 1事業所毎に1枚郵送配布

<スケジュール>

- ▶ 2025年1月よりパートナー登録企業あて随時配送

2. 名刺用 TDMロゴ

<概 要>

- ▶ パートナー企業に登録いただいた全企業に対し、名刺用のTDMロゴを提供

<スケジュール>

- ▶ メールマガジンで登録企業にデータを提供

3. リーフレットへの企業社名の掲載

<概 要>

- ▶ TDMリーフレットに、登録企業社名を掲載

<スケジュール>

- ▶ 2025年1月時点版より掲載（月1回の更新）

■ TDMパートナー企業登録促進に向けた取組

4. テストランにおいてパートナー企業を招待

<概要>

- ▶ 万博テストラン※を活用し、TDMにご協力をいただくパートナー企業を会期前に招待

※万博開幕前に、実際に会場内に試験的に来場者を入れて会場運営してみることで、改善点を発見し、開幕を迎えるまでに対応策を講じることを目的に行うもの。

<対象>

- ▶ 万博TDMパートナー登録企業

<実施期間・規模>

- ▶ 2025年4月初旬（3日間）
- ▶ テストランの招待枠として 5名/事業所 × 1,000事業所程度を想定し、今後調整

<選考方法>

※調整中

■ TDMパートナー企業登録促進に向けた取組

5. 万博TDM出前授業

<概要>

- ▶ 万博TDMの取組みのPRとして、大阪府市が企業へ出前授業に出張
- ▶ ミyakumiyakuも登場しPRを実施（予定）
- ▶ パートナー企業のTDMの取組状況のヒアリングを大阪府市にて実施
- ▶ 出前授業状況等の写真撮影

<対象企業>

- ▶ 万博TDMパートナー登録企業

<実施期間・頻度>

- ▶ 2025年5月～9月（10月のTDM取組強化期間除く）の平日の一部
- ▶ 月2回（特定日に2社程度/回）

<選考方法>

◆募集：2025年2月中旬（予定） ⇒ 決定：3月下旬（予定）

- ① 出前授業を希望する企業より、TDMの取組概要資料を提出
- ② 多数の応募があった場合は一般抽選を予定



6. 大阪ヘルスケアパビリオン 催事専用スペースの活用

催事スペース平面図

<概要>

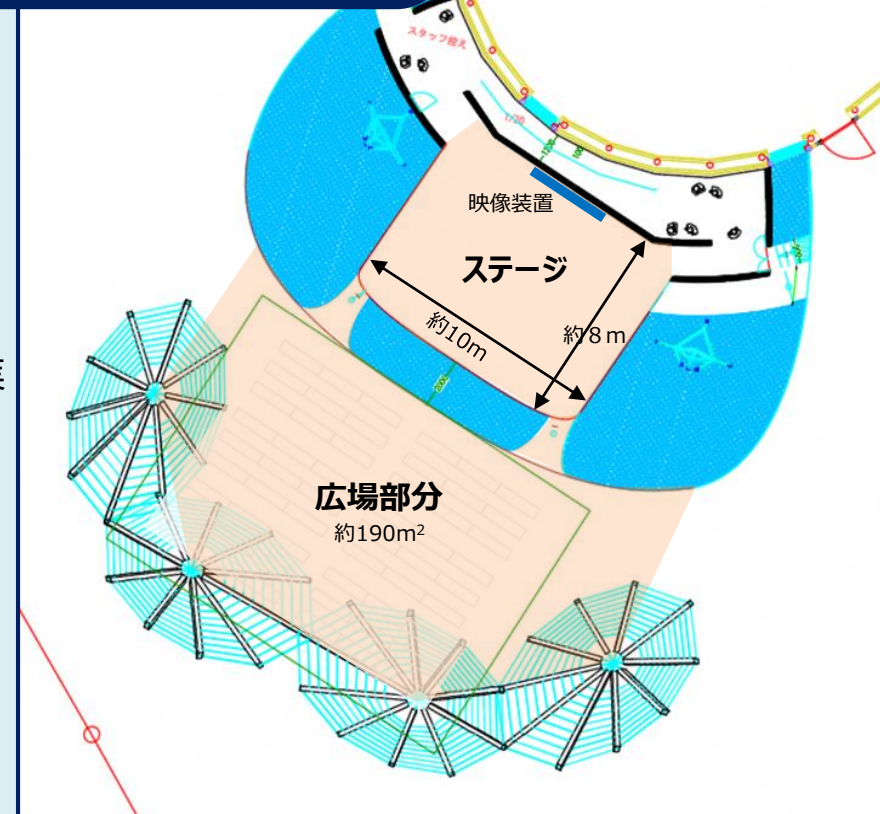
大阪ヘルスケアPVの催事スペースの空枠を活用し、万博TDMパートナー登録企業が催事を実施できる機会を確保

<対象企業>

万博TDMパートナーの登録企業でTDMの取組を実施しており、大阪ヘルスケアPVの催事スペースでの催事の実施を希望する企業

<催事条件>

- 出展参加テーマの『REBORN』や、大阪の活力・魅力を国内外に発信する『大阪のプレゼンス向上』を基本方針とし、大阪・関西万博会場での実施に相応しいクオリティやエンターテインメント性の有する催事を展開できるもの
- 催事内容に、万博TDMに関する取組の紹介を含めること
- 実施体制： 候補日のうち1日を
複数団体（原則2社/日）で実施
- 候補日：2025年6月・7月の複数日



- ・ステージの大きさ：幅10m×奥行8m＝約80㎡
- ・広場部分はテント等を出して展示スペースとして活用可能

<選考方法>

◆ 募集：2025年2月上旬（予定） ⇒ 決定：3月上旬（予定）

- ① 催事参加を希望する企業より、TDMの取組概要資料及び催事計画概要書を提出
- ② 提出書類の確認を行い、実施者を決定（多数の応募があった場合は一般抽選を予定）

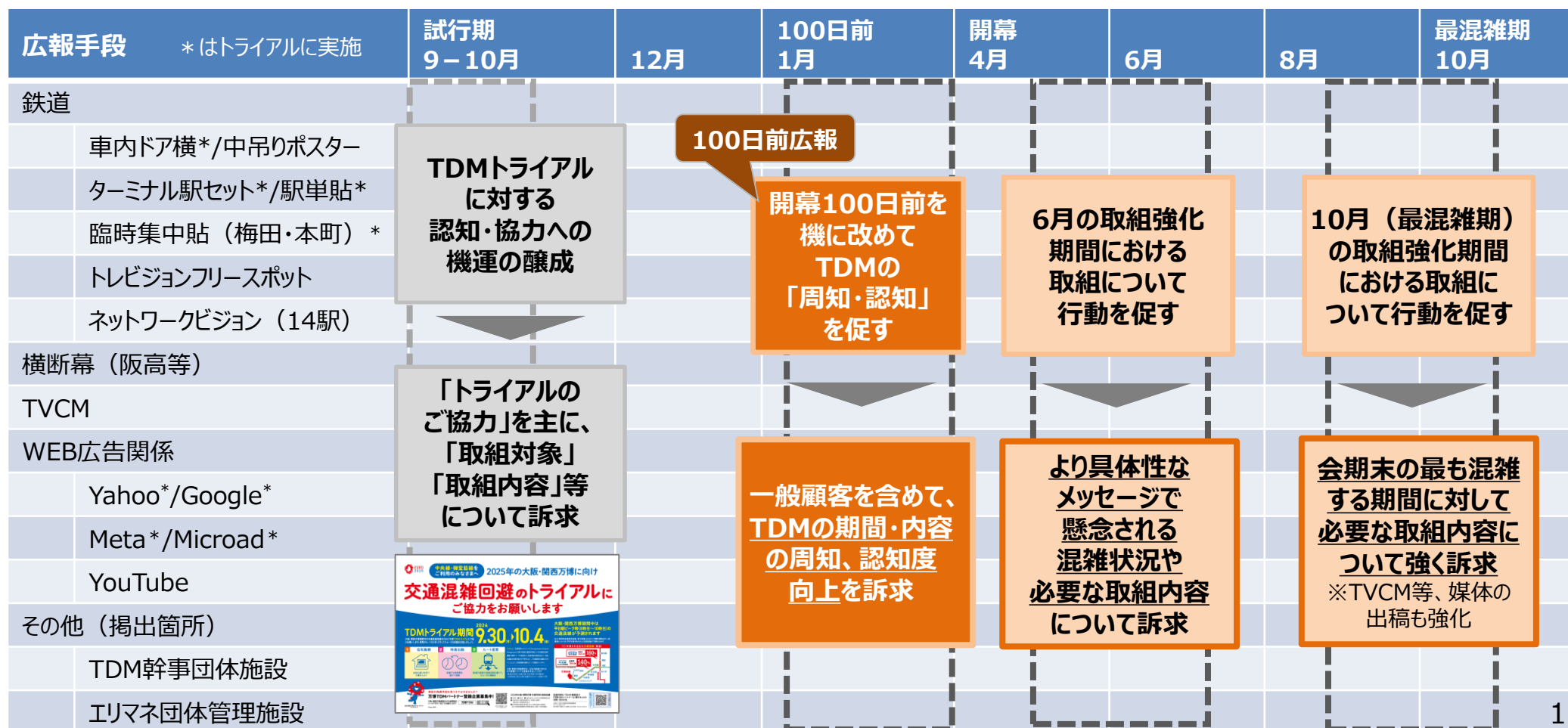
100日前広報について

～万博開催中に中央線・御堂筋線等を利用する方への働きかけ方針～

■ 100日前広報について ~万博開催中に中央線・御堂筋線等を利用する方への働きかけ方針~

<基本的な考え方>

- ▶ 100日前、6月（混雑期）、お盆明け～会期末（最混雑期）の大きく3つのフェーズで広報を実施
- ▶ 当面（100日前～開幕前）については、TDM認知・周知に特化したポスター掲出、またあわせて、万博開催中に中央線・御堂筋線等を利用する方向けに、大阪市公式LINEを活用した情報発信を実施



■100日前広報について ~万博開催中に中央線・御堂筋線等を利用する方への働きかけ方針~

- ▶改めて、TDMの周知・認知を促すための新たなポスター・チラシの作成
- ▶広報は、鉄道事業者及び道路事業者と連携し、広く周知を図る。
- ⇒【鉄道】鉄道事業者の所有媒体を中心に広報掲載を調整
- ⇒【道路】阪神高速道路等への横断幕掲出、所有施設（休憩施設等）へのポスター掲出等による周知を実施

<例：TDMトライアル時の実績（一部）>



【ドア横ポスター】
Osaka Metro全線車両
※ニュートラム線除く



【ポスター掲出】 関西経済連合会



【ポスター掲出】
関西経済同友会



【ポスター掲出】（臨時集中中：Osaka Metro本町駅）



【ポスター掲出】（臨時集中中：Osaka Metro梅田駅）



【改札内ポスター】
御堂筋線：新大阪・梅田・心斎橋・なんば
谷町線：東梅田・天王寺、四ツ橋線：西梅田



【デジタルサイネージ】近畿地方整備局



【デジタルサイネージ】
阪神電気鉄道



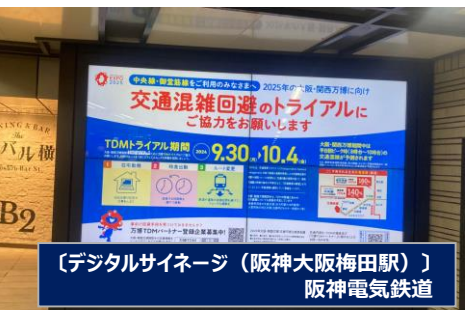
【デジタルサイネージ】
JR西日本



【デジタルサイネージ】
ATC



【デジタルサイネージ】ATC



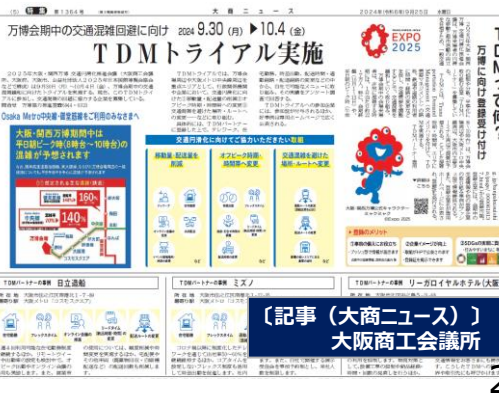
【デジタルサイネージ（阪神大阪梅田駅）】
阪神電気鉄道



【デジタルサイネージ】
グランフロント大阪



【デジタルサイネージ】
いちようテラス淀屋橋



【記事（大商ニュース）】
大阪商工会議所

「企業」に向けた働きかけ

「万博TDMパートナー制度」の創設（2024.2）」

- ➡会期中におけるOsaka Metro中央線の混雑率低減を見据え、企業の取組規模、取組内容を事前に把握する必要があったため、「登録制」を設定
- ➡企業として取り組んでいただくにあたり、企業内での制度の見直し等の必要性が想定されたことから、企業に対する先行的な働きかけを実施

「個人」に向けた働きかけ

「大阪市公式LINEアカウントの活用」

- ➡府民・市民については、登録制ではなく、自らの行動変容いただくための働きかけを実施
- ➡ゼロベースからの登録者の獲得ではなく、既存の登録者数（約1万人）を皮切りに広く情報発信

2025年大阪・関西万博会期中の交通混雑に備えるために

万博TDMパートナー登録企業募集

登録のメリット

- ①事前の備えにお役立ち
・ブランチ型で情報が届きます
・企業中の連絡等、関係者の案内等
・登録証を提示できます
- ②企業イメージが向上
・取組がHPで公表されます
・登録証を提示できます
- ③SDGsの実現に貢献
・「住みやすさ」に等しい
・SDGsの達成に貢献

「万博TDMパートナー」とは
万博期間中の円滑な万博会場周辺と都市活動の両立を促進するため、一般交通の抑制や分散、平準化の取組に協力いただく企業の総称です。
（ご協力いただく企業様）
◆移動量・配送量を削減する取組
◆送迎時間・時間を短縮する取組
◆送迎場所・ルートを回避する取組
◆在宅勤務・まどめ納品等
◆特急・特急列車
◆送迎ルートの変更等

登録要件
登録方法
登録期間
主催
お問い合わせ先
専用ホームページ

企業の皆さまへ

2025年大阪・関西万博会期中における円滑な交通の実現にご協力をお願いします！

1 万博には多くの人が来場します！

1日あたりの来場者数
約22.7万人
それらに伴い、会場周辺や大阪市内等の主要駅周辺へ、人流と物流の集中が想定

2 何も取組をおこなわないと・・・

一部の鉄道や道路で来場者による万博交通と通勤や物流等の一般交通が1箇所へ集中し、混雑の発生が想定

Osaka Metro中央線
混雑率
70% → 140%
2倍

阪神高速
渋滞最大
約2km
延伸

3 これらの交通混雑が企業活動等へ影響を与える可能性があります

鉄道の場合
道路の場合

4 円滑な交通の実現に、企業の皆さまのご協力をお願いします！

御堂筋線 交通規制のお知らせ

2024.11.3 日・祝 11:30 ~ 19:15

規制区間：淀屋橋交差点～新橋交差点

大阪府警察 防犯アプリ

メインメニュー 便利・オススメ 港区の情報

大阪市 ホームページ

子育て

EXPO 2025 大阪・関西万博

防災

各種手続き

市へのお問い合わせ

健康・医療

受信設定

受信設定（基本情報登録）

【情報を希望する区（複数選択可、五十音順）】
お住まいの区や、情報を希望する区を選択してください。

☐ 旭区 ☐ 阿倍野区 ☐ 生野区 ☐ 北区
☐ 此花区 ☐ 住之江区 ☐ 住吉区 ☐ 城東区
☐ 大正区 ☐ 中央区 ☐ 鶴見区 ☐ 天王寺区
☐ 浪速区 ☐ 西区 ☐ 西成区 ☐ 西淀川区
☐ 東住吉区 ☐ 東成区 ☐ 東淀川区 ☐ 平野区
☐ 福島区 ☐ 港区 ☐ 都島区 ☐ 淀川区

2025大阪・関西万博にチェック
⇒交通混雑情報等を発信！

【受信を希望するカテゴリー】

☒ 2025大阪・関西万博 ☐ くらし・住まい
☐ 市民活動・コミュニティ ☐ 防災
☐ 防犯・地域安全 ☐ 救急・消防 ☐ 妊娠・出産
☐ こども・教育 ☐ 高齢者 ☐ 生活福祉・障がい
☐ 健康・医療 ☐ スポーツ ☐ 文化芸術・観光
☐ 市政・市長会見 ☐ 職員採用

万博TDM パートナー

企業名

交通混雑緩和に協力しています！

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

非売品 ©Expo 2025

万博TDM パートナー

企業名

交通混雑緩和に協力しています！

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

非売品 ©Expo 2025

万博TDM パートナー

企業名

交通混雑緩和に協力しています！

2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議



大阪・関西万博
公式キャラクター
ミヤクミヤク

非売品 ©Expo 2025



大阪・関西万博TDMパートナー

<使用イメージ>

株式会社 SAMPLE



営業部

万博 太郎

BANPAKU TARO

〒000-0000

〇〇県〇〇市〇〇町 0-0-000 SAMPLE ビル

TEL 00-0000-0000

http://www.abcde_fghijklmn.com